



絆を深めあい 力を合わせて 勝利をつかみとれ

今年の運動会のスローガンです。スローガンは、児童会活動の中で子どもたちの意見を集めて決めています。

まず、各学級で案を作り9月の代表委員会に持ち寄りました。代表委員会では短冊に書かれた各学級のスローガン案が黒板に掲示されていました。代表委員会は3年生以上の各学級の代表と各委員会の委員長で構成され、児童会の児童が司会運営を担います。持ち寄られた案の中から多数決で1つに決めるのではありません。代表委員会では、各学級が提出した案の中で用いられている言葉、フレーズに注目し、ぜひ盛り込みたい言葉を見つ



月曜6校時の係活動、スローガンの横断幕作成の様子

けて発表していきます。

「6年1組の『絆』という言葉がいいと思います。」「3年1組の『勝利をつかみとれ』を入れたらいいと思います。」といった具合です。



代表委員会の様子

意見が出されるたびに児童会の担当者が、その言葉やフレーズに赤線を引いて赤いマグネット貼ります。同意見が複数出されれば、マグネットの数が同じフレーズに集中していきま

す。中には、「この言葉は、低学年には難しいと思います。」という意見が出されます(青い線と青いマグネット)。こうして、代表委員会で意見の多かった「ぜひ盛り込みたいフレーズ」を取り入れて、後日、児童会の子どもたちがあらためて作り上げて完成したのがこのスローガンなのでした。

運動会 練習あれこれ

いよいよ明日が運動会です。これまで、学年ごとに運動会種目の練習をしてきました。どんなところを意識して練習に取り組んだのか、意外と難しく苦戦したところや努力したところが、練習中の様子から少し見えてきます。あくまでも、私が覗きに行ったごく一部の様子です。

1年生 団体競技は玉入れです。2列でかっこよく足踏みをして入場します。籠の周りに近づくと列が左右に分かれて円を作って足踏みを続けて笛の合図を待つことになっています。最初の練習の時、列が二手に分かれるところが難しかったようです。かっこよく入場する姿も楽しみです。

2年生 団体競技はぐるぐるしばフーンです。2人で1本の棒を持ってコーンをぐるり回ります。できるだけ小さく回る方が有利なのですがなかなか思うようには走れません。体育の時間に何度か練習したのですが、ついコーンから離れたところで大回りしてしまいます。本番は小回りできるでしょうか。

3年生 「オーエス、オーエス」。運動場から聞こえる3年生の子どもたちの掛け声に導かれて見に行くと、綱引きの練習をしていました。綱を引くときのコツを教えてもらって練習をしていました。勝つためのコツは、足の向きや置き方、体を倒す姿勢のようです。そう言われても、理想どおりの姿勢ではなかなか引けるものではありません



ません。子どもたちの力いっぱい綱を引く姿勢にもご注目ください。

4年生 2本の棒に布、まるで担架みたい。その上にプレゼントのようにリボンを結わえたボール。これはトレジャーボールのようです。対戦練習をするたびに順位が入れ替わるそうです。それだけどの色も決め手に欠けるようです。勝利の鍵は、「列幅のダイエット」と、4年1組担任の前川先生。列幅とは、座って待つ児童が並ぶ列の幅のことです。当日子どもたちがすることをみるとピンと来るはずですよ。

5年生 バトンパスの練習に力を入れていました。子どもはバトンを渡してくる相手の方を向いてしまいがち。進行方向を向いたまま手を後ろに突き出し、渡す側が渡す直前に「はい！」と声をかけて知らせることを繰り返し練習していました。でも、勝負がかかって必死になると…。練習の成果が楽しみです。



6年生 下の学年の子たちのお手本になろうと、ラジオ体操の練習もしました。「この運動は、体のどの部分を伸ばすための動きか」と考え、理解したうえで、伸ばす部分を意識しながら体を曲げたりひねったりして繰り返し練習していました。最高学年らしい動きを目指す、開会式のラジオ体操にもぜひご注目ください。



今年は障害物走を行います。本校では長らく障害物走の経験がありません。障害物走は、走者が使用した用具を一回一回元の位置に戻す作業が必要で、この作業が完了していないのに次の組走者をスタートさせるわけにはいきません。時間を短縮するためには、人員を増やしたり練習を重ねたりする必要がありますが、人数がギリギリなうえ練習時間もあまり確保できないため、当日戸惑う場面が出てくるかもしれません。もちろん、そんな状況でも、係の子どもたちは必死で頑張ると思います。準備係だけではありません。5、6年のたくさんの係が運動会を支え引っ張ってくれます。必死に係の仕事をしている5、6年生の児童にも温かいご声援をお願いいたします。

明日が、運動会本番。それに先んじて、5、6年生が今日、準備作業を行います。育友会で当番に当たっている方も今日と明日、お手伝いをしてください。明日、天気に恵まれ、子どもたちが力いっぱい取り組みますように。

制服のスラックスについて

昨年度末から計画していた制服にスラックスを導入する件についてお知らせいたします。

制服取扱業者にお申し、鹿ノ台小学校の制服に合った型番を作成して秋以降の販売をめざしてまいりました。このたび、10月より注文および販売が可能となりました。ただ、店頭で直接採寸をしてからの受注生産となるため、完成までに1か月ほどかかるうえ、金額も当初予想していた額よりもかなり高額(9千円以上)*になるようです。これは、スラックスを導入している小学校が極めて稀で、注文数も少ないことに加え、最近の諸経費の高騰により、事前に製造在庫を抱えることが難しいためです。

金額と完成までの期間を考えると、なかなか気軽に手にしにくいものであるのが現状です。性の多様性への配慮や服装選択の幅を広げたいとの思いから進めてきた計画ですが、思うようにはいかないものです。

とはいえ、このスラックスは、本校の制服生地、ブレザーの形に合わせて作られるものです。既存の制服スカート、制服半ズボンと同様、違和感なく着用できるものであることには間違いありません。選択肢の一つとしてご検討いただけたらと思っています。注文やお問い合わせは、「制服のフジワラ」(0743-75-3083)に直接お願いいたします。

(*価格は、サイズにより異なります。)